

本市では市外に住む方を対象に、Uターン就職・転職イベントの開催や、仕事・住まい・暮らしの相談を行っています。

 年始の「Uターン就職・Uターン転職相談会」を開催

日時

1月4日(金)・5日(土)・6日(日)
午前9時～午後5時

場所

豊岡稽古堂 交流室1-4
(本庁舎前)

対象

市外在住の学生・社会人など
Uターンを考えている方なら誰でも!



 大阪で就職イベントを開催!

豊岡Uターン
企業研究会2020

2月16日(土)
午後1時～4時45分
グランフロント大阪 北館B 2階

詳細は

兵庫県北部(たじま)
合同企業説明会2020

3月13日(水)
午後0時15分～4時45分
グランフロント大阪 北館B 2階

毎日の
Uターン相談

場所 市役所本庁舎 2階 環境経済課
時間 午前8時30分～午後5時15分(土・日曜日、祝日を除く)



どんな仕事があるんだろう?

住まいや暮らし
補助制度を知りたい!

Uターンは具体的に決まってい
ないけど、相談ってできるのかな?

希望の業界や職種、スキルを生かした
仕事についての相談や提案、紹介をします。

いろいろな制度を
お知らせします。

まずは情報収集として、
気軽にお越しください。



ジョブナビ豊岡では、仕事・企業・求人情報やUターン就職イベント情報などをお伝えしています

Uターン就職
Uターン転職 なら

求人・企業情報サイト
ジョブナビ豊岡

消費生活相談員の知恵袋 17

～高齢者施設の退去に伴うトラブル～



介護施設やグループホームなどの高齢者施設を退去する際、返金や部屋の修繕・清掃費の負担をめぐってトラブルになる場合があります。

◆事例◆

認知症の母がグループホームに入居したが、心身状態が悪化したため、10日後に退去し別の施設に移った。前払い金10万円は返金されず、ハウスクリーニング代3万円を請求された。(60歳代、男性)

◆消費生活センターから施設に、老人福祉法などに沿って合理的に精算するように交渉。約5万円が返金され、ハウスクリーニング代の請求も取り下げられました。
 ◆老人福祉法では、認知症対応型老人共同生活援助事業を行う施設(グループホームなど)が前払い金を受領する場合、入居日から3カ月以内に退去したときには日割り計算額を差し引いて返金しなくてははいけません。

◆国土交通省の賃貸借契約解

約時の「原状回復ガイドライン」では、次の入居者のための全面的なハウスクリーニング費用は、貸主負担とされています。事例のグループホームでは、契約書に「入居者の故意過失で部屋の汚損があった場合、入居者が費用を負担する」と定めていました。ハウスクリーニングは、入居者の故意過失による汚損が原因で施されたものではありませんので、施設側が費用を負担すべきと考えられます。
 ◆高齢者施設に入居する際には、事前に費用やサービス内容、退去時の原状回復義務の範囲、返金規定などを確認し、十分な説明を受けてください。

《豊岡市消費生活センター》

▽相談受付 月～金曜日(祝日、年末年始を除く)
 午前9時～午後4時
 ▼相談場所 生活環境課内
 ▼電話相談 ☎21-9001

2~7 今月のイチオシ

8~11 市政ニュース

12~23 クローズアップ 豊岡

24~29

くらしの情報

30~31 保健行事

32~33 図書館・つどいの広場

34~35 主な相談・主な行事

玄武岩の玄さんが堅いテーマも柔らかく解説
豊岡のこころに注目じゃ! 45

豊岡にアーティストが引っ越してくる?

この前、友達んちの近所に、劇団の人が引っ越して来たって聞いたよ。

それは、おそらく劇団「青年団」の人じゃ。城崎国際アートセンターの芸術監督をしとる平田オリザさんが、自分の劇団・青年団を豊岡に移転するしけえ、引っ越して来なったんじやろう。

そういえば、最近、アートのイベントなどをよく見掛けるなあ。

豊岡は、文化芸術のまちづくりを進めとるんじや。演劇や音楽など、いろんな文化芸術を市民に楽しんでもらう機会をいっぱい作とる。今では、たくさんのアーティストが豊岡で活動するようになったぞ。

どんなアーティストが訪れているの?

例えば、城崎国際アートセンターには、世界中から演劇やダンスのアーティストが作品創りに来とる。平田オリザさんや永楽館歌舞伎の片岡愛之助さんなど、日本を代表するアーティストもたくさん豊岡を訪れとるぞ。

すごいね。そんなにアーティストが活躍してくれてほしいな。

わしもそう思つとったところじや。すると、どうじや。豊岡は、アーティストやクリエイターに、移住してもらえらるまちを目指そうと、作戦を作りおつたんじや。その名も「アーティスト・クリエイター移住等促進戦略」じや!!

アーティストやクリエイターに移住してもらい、その人たちと一緒に「幅広い人々を受け入れ、文化芸術の力でまちのセンスを高めて、世界中から尊敬され、尊重されるまち」を創っていくといふ狙いじや。

へー。どんな作戦になつてるの?

アーティストやクリエイターに住んでもらえる、選ばれるまちを創りつつ、アーティストやクリエイターが移住しやすいように、住まいや仕事の情報を提供したり、作品を創作しやすい環境づくりの検討を進めているところなんじや。これから豊岡がどんなまちになっていくのか、ワクワクするのよ。



新・冒険王(2015)青年団 ©TsukasaAoki

